



楽器を持った可愛い人形が世界から 1700 体 特別展「人形たちのシンフォニー」7月28日から



今夏の特別展は「楽器そのもの」ではなくて「楽器を持った可愛い人形たち」のオンパレードです。大阪音楽大学（大阪府豊中市）の音楽博物館には、世界中の楽器を持った人形が約 1,600 体收藏されています。これはこの種の人形では世界一のコレクションです。今回そのすべてを大阪音楽大学のご好意により浜松で展示できることになりました。それにくわえて浜松市楽器博物館所蔵の人形も合わせて、約 1,700 体が展示されます。

大きさはたった数センチの小さなものから、90センチほどの大きなものまでいろいろです。人形の表情は本当に豊かで、素敵な音楽が聞こえてきそうです。世界のいろいろな地域からの人形ですから、手にしている楽器だけではなくて、お国柄を表す民族衣装にも注目です。デザインや色使いも多種多様。また素材も木、竹、粘土、陶、皮、鉄、鉛、真鍮、石、紙などさまざま。

楽器を演奏している姿の人形は、見ているだけでも、とても可愛いのですが、実はたくさんのメッセージを発信してくれています。演奏者の年齢や、性別はもちろん、職業、楽器の持ち方、演奏方法、演

奏の場面、合奏の形態、既に使われなくなった楽器の存在など、可愛いだけでなく「音楽史の証人」としての貴重な役割を担ってくれているのです。

そんな人形の一面を紹介する講演会「音楽史の証人～楽器を奏でる人形たち～」も8月3日（水）午後6時45分から予定されています（無料・要電話申込み）。お話は大阪音楽大学名誉教授で浜松市楽器博物館名誉館長でもある西岡信雄氏。実は大阪音楽大学の人形コレクションは西岡氏が数十年にわたってフィールドワークをしながら集めたもので、2009年に大学を退官なさるときに音楽博物館に寄贈されたものなのです。講演会では収集者としての立場から、人形の奥に秘められた貴重なお話を聞けることでしょう。

この夏は浜松市楽器博物館で是非可愛い人形たちに会ってお話してみてください。

特別展講演会

「音楽史の証人～楽器を奏でる人形たち～」

日時：8月3日（水）18:45～20:15

会場：楽器博物館展示室 聴講無料（中学生以上）

要電話申込み（TEL 053-451-1128）

講師：西岡信雄（大阪音楽大学名誉教授）

さまざまなジャンルのコンサートを開催しました

レクチャーコンサート 「ビルマの豎琴 “サウン・ガウ”」

日本では「ビルマの豎琴」として知られる「サウン・ガウ」。小説では戦地に残り僧侶になった日本兵が演奏しますが、もともとはミャンマーの宮廷楽器なので、実際に僧侶が演奏することはないそうです。サウン・ガウの演奏のほか、ミャンマーの伝統舞踊も紹介し、華やかなコンサートとなりました。

日時：平成23年5月1日(日)14:00～16:00
会場：音楽工房ホール 出演：ス・ザ・ザ(サウン・ガウ)、
チッ・サン・トウエ(踊り)、キン・モウ・モウ(踊り)
入場者：204人



レクチャーコンサート 「宮廷の華・ダンスと音楽」

ルネサンスやバロック時代の王侯貴族にとって、ダンスは教養と気品そして権威を演出するものでした。パヴァーヌ、ホーンパイプ、サラバンド、メヌエットなどの当時の音楽と衣装とともにルネサンスからバロックへと移り変わる宮廷ダンスを紹介しました。

日時：平成23年5月22日(日)18:30～20:30
会場：展示室天空ホール
出演：湯浅宣子(ダンス)、ジェレミー・バドコック(ダンス)、
奥田直美(リコーダー)、佐野健二(リュート、バロックギター、打楽器)、平井満美子(ソプラノ)
入場者：127人



レクチャーコンサート 「イングランド麗し」

ルネサンスからバロック時代にかけてイギリスで活躍したバード、ブル、パーセルなどの作曲者の作品を、当館所蔵のイギリス製のチェンバロ(カークマン作 1791年)とスピネット(キーン作 18世紀初期)を用いて演奏しました。林望さんによるイギリス文化や音楽の楽しいお話もありました。素朴で美しい調べに満ちたコンサートとなりました。

日時：平成23年6月8日(水)19:00～20:45
会場：展示室天空ホール 出演：水永牧子(チェンバロ、スピネット)、
広瀬奈緒(ソプラノ)、林望(お話) 入場者：88人



イヴニングサロン 「弦楽四重奏～ハイドン&シューベルト」

夕方のひと時を、弦楽四重奏の名曲、ハイドンの「皇帝」とシューベルトの「ロザムンデ」で楽しみました。国内でソリスト、主要オーケストラの奏者として活躍されているメンバーからなるアンサンブル∞∞無限の皆さんによる上質な響きを堪能しました。

日時：平成23年4月8日(金)18:45～19:45
会場：展示室天空ホール
出演：アンサンブル∞∞無限(川田知子、山本友重、
篠崎友美、山本裕康) 入場者：71人

イヴニングサロン 「18世紀イギリスのチェンバロを聴く」

当館所蔵の18世紀イギリスのチェンバロを使い、ヘンデルの「調子の良い鍛冶屋」、ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ、コレルリの「ラ・フォリア」などの名曲を演奏しました。ヴァイオリンとチェンバロの優雅な響きに包まれました。

日時：平成23年4月23日(土)18:30～19:30
会場：展示室天空ホール 出演：中野振一郎(チェンバロ)、川田知子(ヴァイオリン) 入場者：105人



イヴニングサロン 「クール&クリスタル～グラスハーブ～」

ワイングラスの縁をこすって鳴らすグラスハーブ。モーツァルトもこの楽器のために曲を残しているほど人気があった楽器です。青森県の弘前大学グラスハーブサークルの演奏によって爽やかな音色を楽しみました。

日時：平成23年5月14日(土)18:30～19:30
会場：展示室天空ホール 出演：弘前大学グラスハーブ・アンサンブル「アンジェリーク」 入場者：61人

イヴニングサロン 「サロンでタンゴ」

アルゼンチンタンゴ楽団「チコス・デ・バンバ」を招き、ラ・クンバルシータ、エル・チョクロなどの名曲を紹介しました。バンドネオンの楽器紹介もあり、複雑なボタン配列に皆さん驚いていました。会場は、アルゼンチンタンゴの情熱的な雰囲気にも包まれました。

日時：平成23年5月30日(月)19:00～20:00
会場：展示室天空ホール 出演：チコス・デ・バンバ(北村 聡 永野亜希 宮沢由美 佐藤洋嗣) 入場者：131人



イヴニングサロン 東日本大震災 復興支援コンサート 「心に届けたい癒しのオルガンサウンド」

ローランド芸術文化振興財団との共催で東日本大震災復興支援コンサートを開催しました。パイプオルガンのためにつくられた楽曲を、現代の最新電子技術を使った電子オルガンで演奏しました。

共催：公益財団法人ローランド芸術文化振興財団
日時：平成23年6月12日(日)17:30～18:30
会場：展示室天空ホール 出演：山口綾規 入場者：74人

イヴニングサロン 「バッハ～無伴奏チェロ組曲～」

J.S. バッハの無伴奏チェロ組曲から第1、3、6番の3曲を演奏しました。そのうち、第6番は当館所蔵のヴィオロンチェロ・ピッコロ(ゴフリラー作・ヴェネチア?・1720年頃)を使用しました。

日時：平成23年6月13日(月)19:00～20:00
会場：展示室天空ホール 出演：武澤秀平 入場者：92人



講座

「What's Jazz? ~その魅力を探る~」(全3回)

ジャズ研究家の佐藤竜さんを招き、ジャズの誕生からモダンジャズまでの変遷を紹介しました。参加された方から、ジャズは身近なジャンルですが、通史は余り知らなかったのが勉強になったとの感想をいただきました。

第1回 ジャズ誕生からスウィング時代まで~大衆化はどのように進んだか~ 5月12日(木)19:00~20:30

第2回 革命によるモダンジャズ時代の到来~鳥がやってきて若者は驚喜した~ 5月19日(木)19:00~20:30

第3回 電化による新しい表現~マイルス・デイヴィスから現代ジャズへ~ 5月26日(木)19:00~20:30

会場:展示室 講師:佐藤竜 参加者:177人



講座

「アフリカを知ろう!」 親指ピアノのワークショップとアフリカのお話

アフリカ各地で演奏されている「親指ピアノ」。今回は、サカキマンゴーさんを招いてタンザニアの「カリンバ」の演奏体験とともにアフリカのお話を楽しみました。参加された方からは、アフリカの音楽だけでなく文化についてもお話が聴けて勉強になりましたと感想をいただきました。

日時:平成23年4月25日(月)18:45~21:15

会場:展示室 講師:サカキマンゴー 参加者:11人



オリジナルCD新発売

各界から好評を頂いている当館オリジナルCDにあらたな仲間が加わりました。今回は、イギリスのチェンバロ(カークマン作 1791年)とスピネット(キーン作 18世紀初期)を使用して、ルネサンスからバロック時代にかけて活躍した、バード、ブル、パーセルなどの作曲者の作品を収録しました。

チェンバロとスピネットの演奏は水永牧子さん。広瀬奈緒さんの透き通った歌声も魅力です。この機会にぜひお聞きください。



コレクションシリーズ33 レコード芸術 特別選定 イングランド麗し〜吟遊詩人の歌と変奏曲〜 18世紀のスピネット、チェンバロとソプラノによる

◆博物館日誌

4/8(金)イヴニングサロン「弦楽四重奏~ハイドン&シューベルト」 18:45 天空ホール 出演:アンサンブル∞-無限 入場者:71人

4/23(土)イヴニングサロン「18世紀イギリスのチェンバロを聴く」 18:30 天空ホール 出演:中野新一郎(チェンバロ)、川田知子(ヴァイオリン) 入場者:105人

4/25(月)講座「アフリカを知ろう!~親指ピアノのワークショップとアフリカのお話~」 18:45 展示室 講師:サカキマンゴー 参加者:11人

5/1(日)レクチャーコンサート「ピルマの琴聲「サウン・ガウ」」 14:00 音楽工房ホール 出演:ス・ザ・ザ(サウン・ガウ)、チ・サン・トゥエ(踊り)、キン・モウ・モウ(踊り) 入場者:204人

5/3(火)ミュージアムサロン「テルミン&マドリヨミン」 14:00、15:30 天空ホール 出演:竹内正実&アンサンブル・マープル 参加者:169人

5/4(水)ミュージアムサロン「オンドマルトノ」 14:00、15:30 天空ホール 出演:坪内浩文 参加者:161人

5/5(木)ミュージアムサロン「ハモンドオルガン」 14:00、15:30 天空ホール 出演:浅野仁 参加者:179人

5/8(日)ミュージアムサロン「フルートアンサンブル」 14:00、15:30 天空ホール 出演:石塚貴士、河合恵子、鈴木希和子、松尾圭子 参加者:96人

5/12(木)講座「(ジャズ入門)What's Jazz? ~その魅力を探る~」(全3回) 第1回「ジャズ誕生からスウィング時代まで~大衆化はどのように進んだか~」 19:00 楽器博物館展示室 講師:佐藤竜 参加者:66人

5/14(土)イヴニングサロン「クール&クリスタル~グラスハーブ~」 18:30 天空ホール 出演:弘前大学グラスハーブ・アンサンブル「アンジェリーク」 入場者:61人

5/16(月)~5/17(火) 移動楽器博物館(花川小学校) 児童数:72人

5/19(木)講座「(ジャズ入門)What's Jazz? ~その魅力を探る~」(全3回) 第2回「革命によるモダンジャズ時代の到来~鳥がやってきて若者は驚喜した~」 19:00 楽器博物館展示室 講師:佐藤竜 参加者:55人

5/22(日)レクチャーコンサート「宮廷の華・ダンスと音楽~ルネサンスからバロックへ~」 18:30 展示室天空ホール 出演:湯浅宣子(ダンス)、ジェレミー・バドコック(ダンス)、奥田直美(リコーダー)、佐野健二(リュート、バロックギター、打楽器)、平井満美子(ソプラノ) 入場者:127人

5/26(木)講座「(ジャズ入門)What's Jazz? ~その魅力を探る~」(全3回) 第3回「電化による新しい表現~マイルス・デイヴィスから現代ジャズへ~」 19:00 楽器博物館展示室 講師:佐藤竜 参加者:56人

5/30(月)イヴニングサロン「サロンでタンゴ」 19:00 天空ホール 出演:チコス・デ・パンバ 入場者:131人

6/8(水)レクチャーコンサート「イングランド麗し〜吟遊詩人の歌と変奏曲〜」 19:00 展示室天空ホール 水永牧子(チェンバロ)、広瀬奈緒(ソプラノ)、林望(お話) 入場者:88人

6/12(日)イヴニングサロン 東日本大震災復興支援コンサート「心に届きたい癒しのオルガンサウンド」 共催:ローランド芸術文化振興財団 17:30 天空ホール 出演:山口峻樹 入場者:74人

6/13(月)イヴニングサロン「パッパ~無伴奏チェロ組曲~」 19:00 天空ホール 出演:武澤秀平 入場者:92人

6/20(月)~6/24(金) 移動楽器博物館(初生小学校) 児童数:641人

利用案内

常設展観覧料:大人400円 高校生200円
中学生以下・障害者・高齢者(70歳以上)は無料
開館時間:9:30~17:00
休館日:毎月第2・4水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、その他施設点検等のための臨時休館日、8月は無休

浜松市楽器博物館だより

平成23年7月1日発行 No.64
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp
URL http://www.gakkihaku.jp/